

## より安全快適な車両を目指して

### ▶新型車両 13000 系の導入

安全性の向上やバリアフリー対応、環境への配慮に主眼をおいて開発した 13000 系車両を、平成 28 年度末時点で 63 両導入しています。オフセット衝突（車体前方の一部のみに負荷が加わるような衝突）対策など車体強度を向上させたほか、急ブレーキ時の事故防止策を施しました。また、車いすスペースや液晶式案内表示器などを設置し、荷棚の高さを低くするとともに、乗降口の扉端部と足元などにオレンジ色のラインを設けるなど、バリアフリー対応を充実しました。



13000 系

### ▶6000 系車両のリニューアル

平成 25 年度からバリアフリー対応やインテリアのグレードアップ、停車駅案内、ニュース・天気予報情報提供によるサービス向上などを目的に、6000 系車両のリニューアル工事を進めています。

あわせて、老朽化した制御装置などの機器を改修することで、故障に対する予防保全を図っています。



リニューアル後の 6000 系

## 平成 29 年度 安全重点施策

### 車両の安全性向上

平成 29 年度は 13000 系車両の新造、6000 系のリニューアルを進めます。また、戸挟み検知精度の向上などを実施します。

## 踏切の安全性向上

### 踏切の安全対策

踏切での事故防止のため、様々な安全設備を設置しています。

- 全方向踏切警報灯  
どんな方向からも見やすい警報灯です。



- オーバーハング型警報機  
遠くから踏切の存在が分かるように、高い位置に警報灯を設置しています。



- 列車進行方向指示器  
どちらから列車が接近しているかを表示する装置で、LED化により視認性を高めています。



- 踏切支障報知装置  
緊急時に押すことで、付近の列車に停止信号を表示します。



- 踏切障害物検知装置  
自動車などの立ち往生を自動的に検知し、付近の列車に停止信号を表示します。

